

2017
10
No. 159

しゃっきー



しゃっきーは厚岸町社協のシンボルキャラクター名です。

十月一日から
赤い羽根共同募金運動が
全国一斉に始まります

■社協会員会費制度

■平成29年度成年後見制度講演会

■特別養護老人ホーム心と園敬老記念品授与式

■在宅老人デイサービスセンター「敬老会」

■ニュース&トピックス「町老連社会奉仕の日」ほか

■ポランティア通信「なかよし」
「あっけし子育てサポートセンター」
第1回交流会 in ゆめの森公園」ほか



尾幌自治会で行ったレスキューキッチンシステムを活用した災害時炊き出し訓練でのひとコマ

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

共同募金は、障がい者や高齢者の福祉団体、ボランティア、市民活動団体等、皆さんが福祉活動に積極的に参加できるような環境づくりのための資金確保を目的に行われています。

共同募金は「計画募金」

十月一日から
赤い羽根共同募金運動が
全国一斉に始まります



また、各種福祉活動に必要な課題を考え合い使いみちの計画をたててから募金を行う、「計画募金」です。この計画を達成するためみなさんに募金の趣旨、理解をいただき必要な金額を目標額として設定し、募金を呼びかけます。

また、募金の一部は全道枠の募金として、道内の福祉施設の整備資金や車輛購入の助成金、災害事業等に役立てられます。

みなさんのための住みよい地域づくりに向けて、ご協力をよろしく願います。

今年目標額は
2,450,000円です。

自分の町を良く
するしくみ

赤い羽根共同募金運動は、「じぶんの町を良くするしくみ」として、地域と一緒に進めていくための運動です。

皆さんから寄せられた募金は厚岸町へ還元され、社会福祉活動や老人クラブ事業、障がいのある方などを支援する団体の活動資金として活用されます。

厚岸町で実施する募金の取組み

- 戸別募金**…自治会を通じて、世帯ごとに募金をお願いします。
- 法人募金**…企業・団体・商店など直接訪問して募金をお願いします。
- 学校募金**…福祉教育の一環として、学校を通して募金を行います。
- 職域募金**…会社の職員に呼びかけ募金をお願いします。
- 街頭募金**…子野日公園で行われる「あつけし牡蠣まつり」会場で街頭にたって募金を行います。
- 募金箱**…町内施設や大型店舗に設置します。

寄付金の使いみち

みなさんから寄せられた寄付金は、全て当町と北海道の地域福祉活動のために役立てられます。

高齢者、ハンディキャップをもつ方などを支援する福祉団体、福祉活動を推進している社会福祉協議会、少年の健全育成と自治会との交流を行う団体の事業活動資金に助成しています。

税制上の優遇措置が受けられます

個人や企業が赤い羽根共同募金に二千元以上寄付した場合、税制上優遇措置の適用が受けられます。

株式会社など法人の場合は、法人税法により法人所得の計算上「全額損金」として取り扱えます。

また、個人の場合は、所得税の所得控除、住民税の税額控除の対象になります。

厚岸町限定ピンバッジ「うみえもん」



[上] 厚岸町の公式キャラクター「うみえもん」と赤い羽根共同募金がコラボ。500円の募金協力に対し、制作費を除いた296円が募金実績となります。

この扱いは確定申告の際に領収証を添付の上、申告すると受けられます。

被災した方には災害見舞金を交付します

火災及び風水害等により、次の要件に該当する被災者に「災害見舞金」を交付します。

■道内市町村の住民基本台帳に記載されている方

■自己の居住用に供している住家に被害を受けた方

災害見舞金は、被害状況によって次のとおり交付されます。

①災害により世帯構成員が死亡された場合、一人につき二万円

②住家に被害を受けた場合、全壊・全焼・流失は二万円、半壊・半焼・床上浸水は一万円

※ただし、災害救助法の適用を受けた場合、罹災者の故意又は重大な過失が災害発生の原因と判断される場合は支給しません。

助成希望する団体を募集します

これから活動を考えている福祉団体などで、助成希

望がありましたら相談ください。(連絡先/厚岸町共同募金委員会事務局 TEL 52-17752)

29年度共同募金助成決定団体と助成額 (厚岸町)

【厚岸町を対象とした市町村地域団体助成(B助成)】		
厚岸町老人クラブ連合会	会員演芸交流会	120,000円
厚岸町老人クラブ連合会	高齢者生きがい事業	35,000円
厚岸町障がい者・見守り親の会「ななろ」	レスパイト事業	100,000円
厚岸町障害者(児)ふれあいフェスティバル実行委員会	こう福祉21	110,000円
厚岸町地域子ども会育成連絡協議会	野外活動体験事業「親子でるるる」	30,000円
身体障害者福祉協会厚岸町分会	町外研修旅行	50,000円
厚岸コミュニケーション障害の会	会員研修旅行	40,000円
北海道難病連厚岸・浜中支部	医療講演会	30,000円
ちいさな絵本箱	読み聞かせ事業	30,000円
厚岸町社会福祉協議会	広報誌発行	485,013円
厚岸町社会福祉協議会	たすけあいチーム助成事業	240,000円
厚岸町社会福祉協議会	ふらっとココ広場	160,000円
厚岸町社会福祉協議会	ふれあい会食会	150,000円
厚岸町社会福祉協議会	ボランティア研修会	45,000円
合	計	1,625,013円

社協会員会費制度

1コインからはじまる 地域のささえ愛(支えあい)

社協とは

「社会福祉協議会」の略称で、わたしたちが住んでいるまちの暮らしや生活(社会)、のしあわせ(福祉)について、一緒に話し合う(協議)、集まり(会)です。

地域での

人と人のつながりを大切に、住み慣れた地域で安心して生活できる福祉のまちづくりを目指して、地域福祉の推進に努めている公共性の高い民間組織です。

住民会員制度の意味

住民会員制度は、資金面から支えるサポーターを意味します。ボランティア活動などへの直接の参加が難しくても、社協会員になることで、地域福祉に参加することができま

特別会員制度も

さらに、個人、企業、団体などに、一般会員とは別に特別会員としての加入をお願いしています。

社協の会員制度

厚岸町社協をはじめ、多くの市町村社協では、目的達成のため「住民会員制度」を設けて、全世帯に一般会員への加入をお願いしています。

会費の使い道

社協では、地域の支えあいを意味する「地域福祉」の推進を目的にさまざまな事業を展開しています。これらを維持・発展させるための経費などに社協会費が使われています。

表 社協会費の種類

会費区分	納入方法
一般会員会費 (1世帯500円)	自治会に取りまとめを依頼
特別会員会費	役職員が、個人、企業、団体などを訪問集金
1号会員 (5,000円)	
2号会員 (3,000円)	
3号会員 (2,000円)	
4号会員 (1,000円)	

厚岸町社協が実施する地域福祉を推進するための事業

皆さんからの会費は
このような事業の経費として活用しています

緊急情報キット配布

緊急時のためのキットを自宅に備え、配布を通して地域のつながりを推進



広報誌などの発行

社会福祉協議会で行っているさまざまな事業や、福祉に関する情報の提供



このほか、ボランティアをしたい人、してほしい人をつなぐ「ボランティアセンター」の運営や、生活の困りごとの相談に応じる「あんしんサポートセンターあっけし」の運用などに活用しています。



平成29年度成年後見制度講演会 落語で知ろう！成年後見制度

より判断能力が低下した父を心配する息子さんの相談を受けるお話の中で、成年後見制度をわかりやすくご口演いただきました。

参加者から、「一見難しい制度のことを楽しくわかりやすく学ぶことができた」と感想や「そばがおいしそうだ」と落語自体も楽しんでいたことができました。

第2部は、師匠と専門職との体験談話と題して、体験談を交えたフリートークを披露しました。トークのなかで「(※)市民後見人」の話題となり、認知症など判断能力が低下した方の生活のサポートには、家族や専門職だけではなく、新たな権利擁護の担い手の市民後見人の存在が重要をという説明がありました。

あんしんサポートセンターあっけし(厚岸町社協)では、9月23日、社会福祉センターにおいて、成年後見制度、市民後見人を多くの方に知っていただくことを目的に、成年後見制度講演会を開催しました。

講師には、成年後見落語で全国の地を飛び回っている桂ひな太郎師匠をお招きしました。

第1部は、成年後見落語「後見爺さん」で、認知症に

(※)市民後見人(定義のひとつに、親族以外の第三者の成年後見人等として、家庭裁判所が、一定の講習を受けた候補者から選任した方をいう。)

私たちが相談に応じます。

判断能力に不安がある方の生活や財産に関する困りごとの相談に応じます。

必要に応じて、関係機関と連携し、本人が安心して生活できるようサポートします。

ご相談は、『あんしんサポートセンターあっけし』へ

TEL0153-68-9955

写真右から、相談員の
奈尾和哉、米内山紘輝



市民後見人養成研修受講生募集

新たな成年後見の担い手を目指しませんか

厚岸町社会福祉協議会では、認知症、知的障害、精神障害等により判断能力が十分でない方を支援するために、成年後見活動を担う市民後見人(後見人等候補者)を養成する研修を実施します。

■留意事項/次のいずれかの説明会に参加ください。
①10月18日(水)13時30分
②10月20日(金)18時30分
※会場は、社会福祉センターで概ね60分程度を予定しています。

研修を修了した後は…

○研修を修了した者は「厚岸町市民後見人候補者」として登録可能です。
○市民後見人は、後見実施機関(社協)の支援・指導を受けながら、後見活動を行うこととなります。

- 対象/次の事項をすべて満たす者であること
- ①満25歳以上であること(受講修了時)
- ②原則として厚岸町に居住する者
- ③これまでに後見人、保佐人、補助人を解任されたことがない者
- ④破産していない者
- ⑤すべての研修を受講できる者
- 日程/平成29年10月26日～11月24日の間で約7日間
- 会場/社会福祉センター
- 参加費/無料



特別養護老人ホーム心和園 敬老記念品授与式



[上]今年度の長寿該当者の皆さんと、悪天候の中でもお越しいただき挨拶した若狭靖町長(写真中央)とが、一緒に記念撮影。

社会福祉協議会が心和園の運営を担ってから、4回目の敬老式典を9月18日に開催しました。

今年度の長寿祝金該当者は傘寿が2名、米寿が4名そして白寿が2名でした。

該当者の皆様には、厚岸町社会福祉協議会大野会長より長寿祝金の贈呈がされました。

また、心和園からも記念品の贈呈をさせていただきました。



今年も敬老式典に際し、町内にお住まいの堀部禮子さんより、とても奇麗な花束の寄贈があり、皆さまの前に飾らせていただきました。

また、式典を盛り上げるべく、町内を中心に活動されている和太鼓グループ「鼓魂絆纏」の皆様にもお越しいただき、演奏を披露していただきました。



[上]堀部禮子さんからいただいたお花と、鼓魂絆纏の皆さん。



[上]大野繁嗣会長より、長寿祝金の贈呈を受ける利用者。

在宅老人デイサービスセンター敬老会



9月18日から9月22日の5日間、在宅老人デイサービスセンターにおいて敬老会が行われました。デイサービス職員からの敬老のお祝いの授与を行い、毎年恒例の目指せ！億万長者！と題したゲームを今年も行いました。「ジェスチャーゲーム」や「お絵かきですよ！」は答えを当てる利用者を、「ロシアンルーレット」は辛い物やまずい物を食べている職員を予想するといったゲームで、職員の役者ぶりにだまされないようにと警戒しつつ大盛り上がりとなりました。



[上]敬老のお祝いの授与の様子

最後に毎日変わるスペシャルゲストとしてスタッフ余興が行われ、大笑いの5日間となりました。

[下]特別ゲストにチップとテープの嵐



[右]ジェスチャーどちらが当たる！？



社協の貸付制度をご存知ですか

厚岸町社会福祉協議会では、貸付により、生活の向上や生活意欲の助長促進を目的とし、5万円を上限に無利子で資金の貸付を行っています。

貸付には要件がありますが、まずは気軽にご相談下さい。

■貸付対象

- ・他制度の援助を受けられない者及び世帯
- ・生活保護を受けている者及び世帯
- ・保証人を立てることができる者

■注意事項

- ・申込みにあたり民生委員の意見書が必要です
- ・保証人は、町内在住で返済能力のある者、また同居していない者に限ります

■問合わせ・申込み先

厚岸町社会福祉協議会
総務地域課

☎ 52-7752



地域福祉事業資金造成 第5回チャリティービアパーティー 大盛況のうちに終わる

～チャリティー益金は 357,136 円～



[上] 若狭靖町長の乾杯でビアパーティーが始まりました。



[上] みなさん楽しそうに飲んでます。



[上] お楽しみ抽選会で秋刀魚が当たりました。今年の秋刀魚は貴重…かも？

去る9月9日、社会福祉センターにおいて、昨年引き続き、地域福祉事業資金造成を目的としたチャリティービアパーティーを開催し、大盛況のうちに終わることができました。

当日は、約250名の方が来場し、サッポロ・アサヒ・キリン・サントリーの4銘柄のビールを楽しみ、ほろ酔い気分での交流の場となりました。

この益金は、町内の福祉活動への助成金や、社会福祉協議会の地域福祉活動の財源として活用させていただきます。

みなさんのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

当日の収益は、会券収入の769,500円で、かつた経費412,364円を差し引き、357,136円がチャリティー益金となりました。(表)

表 チャリティービアパーティー収支報告

収入の部		
会券収入	769,500円	1,500×513枚
計	769,500円	①
支出の部(税込価格)		
飲食費	288,242円	飲物、オードブル等
消耗品費	13,318円	ビール、ジュースコップ 他
景品費	76,626円	お楽しみ抽選会景品
印刷費	3,888円	会券用紙代
通信運搬費	13,888円	郵送料
その他経費	16,402円	白布クリーニング代 他
計	412,364円	②
収支差額(益金)		
収支差額	357,136円	①－②

[ニュース&トピックス] NEWS & TOPICS

☆社協の行催事の他、町内福祉団体の話題などをまとめてお伝えします。



[上]何種類かのガラスを叩き割り、割れ方の違いを実感する参加者

参加体験型で学ぶ 実践型防犯教室

厚岸警察署は、9月13日、社会福祉センターにおいて実践型防犯教室を実施し、地域住民ら約20名が参加されました。

厚岸警察署生活安全係の西山広樹さんから、最近の犯罪発生状況や巧妙化する振り込め詐欺の注意点を説明がありました。

防犯設備士の高橋佳嗣さん(進栄ロックサービス株式会社)からは、住居侵入の手口や対策などについて、ドアや窓の模型を使って実践的な解説がありました。実際に通常のガラスと防犯ガラスの割れ方を比較する体験も行われ、その性能の違いを実感しました。普段からできる防犯対策として、「短時間でも離れる時は施錠する」などのポイントが挙げられ、参加者は耳を傾けていました。

[下]手分けして、遊歩道にウッドチップを敷きました。



樹木園で奉仕活動 町老連社会奉仕の日

厚岸町老人クラブ連合会では、老人クラブの三大運動である、「健康」「友愛」「奉仕」活動の一環として年に一度、公共施設の清掃などを行っています。

昨年に引き続き、釧路振興局森林室協力のもと、愛冠にある厚岸樹木園にて24名の老人クラブ会員が遊歩道にウッドチップを敷いたり、樹名盤の取り付けなどの奉仕活動を行いました。初めて参加した会員は、「やってみると楽しいし、意外とできるね」と笑顔で話し、重労働でも楽しく作業できたようです。

こういった活動が、地域の活性化に繋がり、高齢者の社会参加や老人クラブ発展の一助になるよう、続けていきたいと考えています。



[上]ゲーとチョコキを上下で入替え。苦戦しながらも笑顔でやりきりました。

管内の会員たちが交流 身障協幹部・会員研修旅行

交流を目的とした管内における障がい者団体の研修旅行が弟子屈町で行われ、本会からは4名の会員が参加しました。

講演では、『脳トレでリフレッシュ』と題して、脳トレ摩周代表の大友れい子氏による脳トレ体操が行われました。両手を動かしながら童謡を歌ったり、一つのゲームの中に、歌う、動かす、覚えるなどの動作がいくつか組み合わせることで、脳を活性化させる仕組みとなっています。会員は思ったように動かない手に、もどかしさを感じながらも一生懸命取り組みました。

この研修旅行を楽しみにしている会員は、熱い温泉に浸かりながら共に汗を流し、話に花を咲かせたりと、沢山の交流が生まれ、笑顔で帰路につきました。

平成29年度

あっけし子育てサポートセンター

第1回交流会 in ゆめの森公園

あっけし子育てサポートセンターでは、地域の中で子育てをする環境となるよう、子育てを支え合う会員制の『ファミリーサポート事業』を行っています。

8月26日(土)に行われた交流会は、日頃個々に活動する会員がリフレッシュして、相互の交流を深めながら情報交換を行うことを目的として、年に2回の交流会を開催しており、第1回目となる今回は「道立ゆめの森公園」へ会員9名が参加しました。

町外への交流会は、当センター

設立以来初めてであったため、どんな交流会になるか、ドキドキワクワクしながらのスタートとなりました。

自己紹介をしたりクイズなどをしながらバスに揺られ、目的地の『ゆめの森公園』に到着しました。

当日の天候は快晴、最高気温は30度、最高のコンディションに参加した子供たちは水遊びや自転車、トロッコ漕ぎなど外遊びに夢中でした。大人も童心に戻り、子供たちと一緒に遊び、心身共にリフレッシュすること

ができました。

帰りの車中も元気いっぱいのみなさんで、とても有意義な一日となりました。

スケジュール

8:30	出発
9:30	トイレ休憩
10:15	ゆめの森公園到着
11:30	昼食
14:00	ゆめの森公園出発
15:50	到着



全員で記念撮影♪



小川の水は冷たいのかな？



ちょっと難しい手漕ぎイカダ



皆で何度も乗ったトロッコ



慣れたらへっちゃらだよ



ゆらゆら揺れて楽しいね

参加者の声

■楽しかった事は？

- ・トロッコ
- ・赤い滑り台
- ・小川や木の迷路
- ・子供達と沢山遊べたこと

■行ってみたい場所は？

- ・動物園
- ・道の駅(足湯など)

- ・遊園地
- ・映画館
- ・水族館

■改善点は？

- ・参加人数が少なかったため、昆布時期を外すなど、日程調整してはどうか。

貴重なご意見有難うございました。今後の参考にさせていただきます。



大規模災害に対応するための 炊き出し訓練を行いました

厚岸町ボランティアセンターは、主に自治会が行う炊き出し訓練を支援していますが、9月までに尾幌、梅香自治会において炊き出し訓練を行いました。

訓練では、レスキューキッチンの役割、操作方法、使用する際の注意事項等の説明をボランティアセンター職員が行い、参加者が調理して豚汁等を作りました。

尾幌自治会では、「早く調理ができて便利だけど、機器を運んだり後片付けが大変になると思う」、「水が無かったら料理を作ることができない。水や食料を備える必要がある」、梅香自

治会では、「稼働するのに燃料はどのくらい必要か」、「何が調理できるのか」など、さまざまな感想、質問をいただきました。

また、9月30日には山の手自治会において、炊き出し訓練を行います。

今後も、ボランティアセンターでは、炊き出し訓練に伴う支援を行っていきますので、実施される場合には、問い合わせ先までご連絡ください。



[上] レスキューキッチンの操作説明を受ける梅香自治会のみなさん

■ 問い合わせ先

厚岸町ボランティアセンター
(社会福祉センター内)
総務地域課：杉本
TEL 52-7752

ボランティアセンター登録団体を紹介します コミボラネット山の手

その2

コミボラネット山の手は、平成24年9月に自治会有志により、地域の支え合いを推進するため、また、自ら地域の方が生活を守ることを基本に、安心して暮らしていけるよう立ち上げたボランティア団体です。

主な活動は、高齢者の交流と社会参加促進を目的としたふれあいサロン、住民の世代交流を図る盆踊りや収穫祭等のイベント運営協力、高齢者の見守りに

伴う緊急情報キット「かけはし」の配布、安否確認や要介護者への声かけ活動を担っています。

人と人とのつながりを大切に、住民のみなさんが安心して生活できる環境づくりを進めています。



[上] ふれあいわんぱく盆踊り準備の様子



編集後記

■今年も「暑いねえ」と言えた短い夏も過ぎ、涼しい気候となりましたね。ホットしている気持ちとは少し違って体はまだ夏の疲れが残っているもの。

味覚の秋ですが、胃にも優しく体調回復の時と思いながら、「お腹すいた」を繰り返す日々です。(五十嵐)

■これまで遠くに感じていた危機を突然突きつけられるようなご時世となりました。自然災害とも違いました、異様な警報でもあり、とても「恐怖」を感じる出来事でした。日頃の備えなど対策を行えるたぐいのものではないかもしれませんが、何かあった時には声を掛け合って助け合う日頃の地域のあり方も一つの備えと考えます。(早川)

厚岸町社協広報誌

しゃっきー

2017. 10/No. 159

【編集】 広報委員会(以下、委員)
早川 知記 柏木由起子
奈尾 和哉 五十嵐愉美
米内山紘輝 井口 新一
杉本 裕樹 小笠原晶子

社会福祉法人 厚岸町社会福祉協議会

〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地
厚岸町社会福祉センター内
TEL 0153-52-7752
FAX 0153-52-6044
mail info@akkeshishakyo.or.jp
URL http://akkeshishakyo.or.jp/

社会福祉センターAEDを更新しました

厚岸町社会福祉センターに設置しているAEDを、厚岸町の「防衛省特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」の一環で新たな機器に更新しました。ロビーに設置していますので、もしもの時に活用ください。



寄付・寄贈ありがとうございます(7月~9月)

【寄付金】▼一般寄付 匿名20,000円〔心和園へ〕

▼心和園 林貞子さん/オムツ、齊藤五郎さん/ニンジン

【寄贈品】▼法人運営 厚岸プロパン株式会社/古切手

▼デイサービスセンター 白井悦子さん/バスタオル

レクリエーション紹介

エピソード③

社協では、施設や事業でさまざまなレクリエーションを実施しているほか、遊び方を指導する職員の派遣も行っています。引き続きシリーズで楽しめるレクリエーションを紹介します。

『輪になってリズム運動』

このレクリエーションは、輪になって座り、童謡を歌いながら、自分や両隣の人の膝にタッチするリズム運動です。

ルールは簡単。リーダーの「じぶん、みぎ、じぶん、ひだり」の声にあわせ、「自分」の

時、両手は自分の膝、「右」の時は右隣の膝、「左」の時は左隣の膝にタッチします。リズムカルに動けるようになったら、歌に合わせて行います。歌は三拍子の童謡(うさぎとカメラや月)などが良いでしょう。

このゲームは、脳を活性化させる働きがたくさん組み込まれており、知らないうちに認知症の予防になっているゲームです。また、大人数でも手軽にできるので、自治会の集まりやサロン活動でやってみませんか。■問い合わせ先/社協総務地域課 ☎52-7752

